

2. ダイカスト生産の過去5年の実績－「材質別」・2017年度受注動向

経済産業省・生産動態統計より

単位・t ()内→対前年度比・%

年度：4月～3月	単位	ダイカスト合計	アルミニウム	亜鉛	その他
2012年度 (平成24年度)	t %	980,278 (101.5%)	953,260 (101.6%)	22,434 (94.6%)	4,584 (96.2%)
2013年度 (平成25年度)	t %	1,000,765 (102.1%)	974,195 (102.2%)	21,760 (97.0%)	4,805 (104.8%)
2014年度 (平成26年度)	t %	994,665 (99.4%)	969,857 (99.6%)	20,569 (94.5%)	4,241 (88.3%)
2015年度 (平成27年度)	t %	973,186 (97.8%)	949,722 (97.9%)	19,891 (96.7%)	3,575 (84.3%)
2016年度見込み (平成28年度)	t %	989,145 (101.6%)	966,633 (101.8%)	18,669 (93.9%)	3,845 (107.6%)
受注動向調査結果 2017年度 (平成29年度)	t %	1,014,521 (102.6%)	992,407 (102.7%)	18,412 (98.6%)	3,701 (96.3%)

*1: 2012年～2015年

経済産業省生産動態統計資料の「ダイカスト」・「アルミニウム」・「亜鉛」・「その他」より各年度(4月から翌年3月)を算出した。

*2: 2016年度見込み(一部推計)

2016年4月～2017年1月は経済産業省生産動態統計資料の「ダイカスト」・「アルミニウム」・「亜鉛」・「その他」、2017年2月と3月は需要予測部会で予測し、合計(見込み)を算出した。

*3: 2017年度予測はアンケート結果(「アルミニウム」,「亜鉛」,「マグネシウム」)より算出

アルミニウム	上期	4.1%	下期	1.3%
亜鉛	上期	-1.0%	下期	-1.7%
その他	上期	-3.9%	下期	-3.6%

「その他」の材質は「マグネシウム」のアンケート結果を使用し、対前年同期重量を計算して年度材質別とダイカスト合計を算出した。

◎上記より需要予測部会では2017年度受注動向を対2016年度比で下記のように予測した。

ダイカスト合計	<u>2.6%</u>	(102.6%)
アルミニウム	<u>2.7%</u>	(102.7%)
亜鉛	<u>-1.4%</u>	(98.6%)
その他	<u>-3.7%</u>	(96.3%)